



リクルートテクノロジーズ、不動産管理に特化したキーレスエントリーシステム

iNORTH KEY (イノースキー)

7月より販売・受付スタート！

株式会社リクルートテクノロジーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村吉弘、以下：リクルートテクノロジーズ）の研究開発機関アドバンスドテクノロジーラボ（以下、ATL）は2016年7月28日より、不動産内覧に特化したキーレスエントリーシステム※1「iNORTH KEY（イノースキー）」の販売を開始します。



不動産管理に特化した「iNORTH KEY」、スマートフォンで内覧可能に

従来、仲介会社が賃貸物件の空室を内覧案内する際、部屋の鍵を保管している管理会社まで取りに行き、内覧後返却するという手間がありました。そこでATLは、仲介会社の手持ちのスマートフォンが一時的に物件の鍵となるキーレスエントリーシステムの仕組みを構築し、今年1月に試験運用を開始しました。これにより、「鍵を管理会社に取りに行く必要がない」、「いつ誰がどの鍵を解錠/施錠したか把握できる」など、内覧業務の効率化や、入退室に関するセキュリティ強化を実現しました。

従来のキーレスエントリーシステムは、一般生活者（居住者）による利用を想定したものが主流でした。本製品では利用対象を不動産会社へ絞り込んだ開発により、物件内覧業務に最適な機能を実現しました。今後は物件内覧だけでなく、シェアハウスや民泊など、多数の鍵利用者が必要となる施設での活用も視野に入れています。



取り付けの様子

取り外しの様子



操作方法はとてもカンタン



独自システムと中央管理により、利便性とセキュリティの高さを実現

従来のキーレスエントリーシステムは、通信手法の仕様制限によって、1つのシステムに7個の鍵までしか作れないといった上限があり、複数の担当者で物件内覧を行う不動産会社にとって鍵数制限は利便性が乏しい場合があります。独自のシステムを活用した本製品では、鍵数制限をなくすことに成功し、ドアを開閉できる人を何人まででも増やすことができます。

また、従来のキーレスエントリーシステムは限られた形状のサムターン※2 にしか使えない場合が多く、さらに設置時には工事やオプションパーツが必要でした。本製品では、既存システムが対応できなかったサムターン形状にも対応が可能となりました。※3 幅広いサムターン形状に対応できるのみならず、工事やオプションパーツなしで設置・取り外しが可能です。その他にも、中央管理を行うことによって、「いつ誰がどの鍵を解錠/施錠したか」を記録できるなどセキュリティ面の強化も実現。不動産会社に対し、利便性だけでなく、安全性の高いサービスの提供を可能としました。



スマートフォンひとつで施錠と解錠が可能



iNORTH KEY、7月より販売受付を開始

- 発売日：2016年7月28日
- 価格：本体価格 6,000円（税別）※4、月額利用料 380円（税別）※5
- 販売元：株式会社リクルート住まいカンパニー
- お問い合わせ先：株式会社リクルートテクノロジーズ お問い合わせ窓口（アウル株式会社） inorthkey-ml@aur.co.jp

- ※1 キーレスエントリーシステム…キーを物理的に鍵穴に差し込まなくても、ドアロック制御システムを通じて、ドアの解錠/施錠ができるシステム。
- ※2 サムターン…ドアの室内側についている、錠の開け閉めを行うために使う金具。サムターンのツマミを回すことにより、解錠/施錠を行います。
- ※3 サムターンカバー型キーレスエントリーシステムとして国内唯一、MIWAロック PGF および公団用玄関錠に対応（2016年7月28日現在）。
- ※4 本体価格に送料は含まれません。付属品として単3電池は含まれていません。別途ご用意ください。
- ※5 月額利用料金に、機器の保守サービスは含まれません。



株式会社リクルートテクノロジーズ

株式会社リクルートテクノロジーズは、リクルートグループのビジネスにおける IT・ネットマーケティングテクノロジーの開発・提供を行う機能会社です。IT・ネットマーケティング領域の専門力・イノベーション力で、リクルートグループのビジネスを進化させることがミッションであり、「次世代技術の R&D・新ソリューションの開拓」「ビジネスの実装」といったテーマに取り組んでいます。

- 社名：株式会社リクルートテクノロジーズ
- 設立：2012年10月1日
- 資本金：1億円
- 従業員：539名(2016年4月1日現在)
- 事業内容：IT・ネットマーケティングテクノロジーの開発・提供
- Web サイト：http://recruit-tech.co.jp/

研究開発組織 アドバンスドテクノロジーラボ (ATL) について

リクルートテクノロジーズ内の研究開発組織であり、多くのサービスを持つリクルートグループの中で、新しい技術の開拓や次のトレンドをいち早く察知し、未来のサービスにいかせるソリューションを生み出す部署です。日常業務では使わないような新しい技術を噛み砕き、使いこなし、その技術をビジネスの武器となるような形で追求していける環境を設けています。自然言語処理による会話 BOT を開発し、人型ロボットに搭載して店舗の接客担当を任せるなど、実証実験を実施しています。

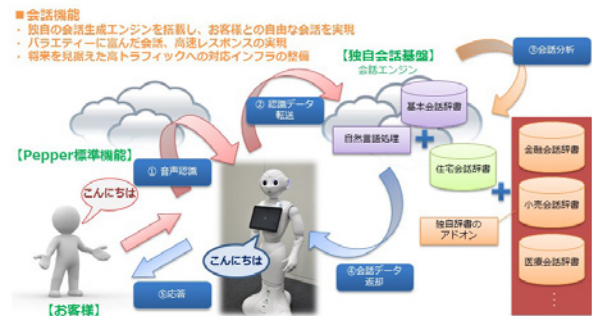
独自の会話 BOT 搭載、Pepper をスーモカウンターへ設置 ～接客を通じて、家族全員が楽しめるサービスへ～

自然言語処理技術を駆使した取り組みとして 2015 年 12 月、技術開発・アプリケーション開発を担当した独自の会話 BOT を、ソフトバンクロボティクス株式会社が提供する人型ロボット「Pepper」※6へ導入。スーモカウンター※7の接客担当として全国各地の 15 店舗へ設置しました。店頭では Pepper に搭載されているタブレットや音声認識の機能を活用し、住宅に関連したサービス案内や、未就学児向けのゲームを提供する他、お客様と自由に会話することが可能です。独自の会話エンジンは、ATL が自然言語処理技術を活用して開発したもので、Pepper のコミュニケーションに限らず、様々な応用が期待されています。

※6 本取り組みは、ソフトバンクロボティクス株式会社が提供する Pepper の法人モデル「Pepper for Biz」を活用し、自社が独自に実施しています。

※7 スーモカウンターは、株式会社リクルート住まいカンパニーが運営する店頭サービスです。新築マンションの購入や注文住宅の建築を検討される方に向けて、ご要望に沿った物件や建築会社を中立的な立場で紹介。2005年9月から現在まで、全国117店舗に開設しています。

独自の会話機能の仕組み



本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先
株式会社リクルートテクノロジーズ PR 事務局 アウル株式会社
TEL：03-5545-3888 FAX：03-5545-3887 MAIL：rtc-ml@aur.co.jp